



福島医発第811号(地)

平成26年 6月17日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

風しんの予防啓発リーフレットについて

今般、標記の件につきまして、別添のとおり厚生労働省健康局結核感染症課より福岡県保健医療介護部保健衛生課を通じて周知依頼がありました。

厚生労働省におきましては、結婚を機に妊娠・出産を希望する女性やその周りの同居家族の方などに、風しん予防を検討していただけるようリーフレットが作成されております。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了知いただき、貴会会員へ風しん予防の啓発にリーフレットをご活用いただきますよう周知方よろしくお願いいたします。

なお、リーフレットにつきましては、厚生労働省ホームページに掲載されておりますことを申し添えます。

記

<風しんに関するホームページ>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index.html

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

公印省略

26保衛第794号
平成26年6月12日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会长
一般社団法人福岡県私設病院協会长
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長
一般社団法人福岡県精神科病院協会长

} 殿

福岡県保健医療介護部保健衛生課長
(感染症係)

風しんの予防啓発リーフレットについて (通知)

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このことについて、別添のとおり厚生労働省健康局結核感染症課から事務連絡がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対し周知していただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

福岡県保健医療介護部保健衛生課
感染症係 諸藤

TEL:092-643-3268 FAX:092-643-3282

E-mail: morofuji-y9948@pref.fukuoka.lg.jp



事 務 連 絡
平成 2 6 年 6 月 6 日

各

都道府県
政 令 市
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局
結核感染症課

風しんの予防啓発リーフレットについて

標記について、結婚を機に妊娠・出産を希望する女性やその周りの同居家族の方などに、風しん予防を検討していただけるようリーフレットを作成しましたので、啓発資料として、適宜、御活用いただくとともに、管内関係機関等への周知方よろしくお願いします。

なお、自治体名の追記については、編集可能です。レイアウト等の変更を希望される場合は、問い合わせ先にご連絡ください。

<風しんに関するホームページ>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index.html

<本件に関する問い合わせ先>

厚生労働省健康局結核感染症課

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2

代 表 03-5253-1111 (内線: 2094, 2386)

直 通 03-3595-2257

F A X 03-3581-6251



妊娠・出産を
考えるあなた、
結婚を機に
風しん予防の
取り組みを。

これまでも、これからも。
女性がいちばん輝く日を、風しん予防の記念日に。

2020

今年度は抗体検査を無料で実施しています（平成27年3月31日まで）

感染症・予防接種相談窓口

受付日時：午前9時～午後5時（土日祝日、年末年始を除く）

☎03-5276-9337

増えています、大人の風しんの患者さん

近年、大人で風しんにかかる方の割合が増えています。風しんの患者さんは、過去に定期的予防接種を受ける機会のなかった30～40代の男性や予防接種率が低かった20～30代の男女で多くみられています。特に、

1962～1989年生まれの 男性

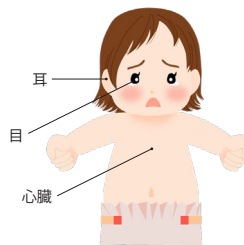
1979～1989年生まれの 女性

は風しんへの
免疫(抗体)
を持たない
方の割合が
他の年齢よ
りも高いた
め注意が必
要です。



風しんは、なぜこわい？

風しんは**風しんウイルスにより感染**し、発熱、発疹、リンパ節のはれなどの症状を引き起こします。症状は軽いものがほとんどですが、はっきりした症状がないため気づかずに周りの方へ感染を広げてしまうことがあります。また、**妊娠期間の前半**(20週頃まで)に**妊婦が感染**すると、生まれてくる赤ちゃんの**目や耳、心臓などに障害**が生じる可能性があります(先天性風しん症候群)。そのため妊娠・出産を考えている女性は特に、事前の風しんの予防が大切なのです。



妊娠の前に、風しんの予防の確認を

妊娠中の風しん感染を予防し、**先天性風しん症候群**の発生を防ぐには、妊娠前の予防接種によって、**風しんの免疫を獲得する(抗体をもつ)**ことが重要です。**妊娠してからでは風しんの予防接種を受けることができません**。風しんの予防接種を受けているか分からず、風しんにかかったことも確実ではない場合には、風しんの予防接種を検討するか、まずはご自分の風しんへの免疫(抗体)を**血液検査**で確認してみることをおすすめします。

※今、多くの自治体では、抗体検査を無料で受けることができます(抗体検査費用の助成事業を2015年3月末まで実施)。将来の妊娠・出産を考える機会には、風しんの予防についても考えてみてください。

※お住まいの地域の助成事業の実施状況や抗体価検査を受けられる医療機関については、お近くの保健所等の自治体窓口にご確認ください。

〈お住まいの近くの自治体〉 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/hokenjo/index.html

予防のカギは「家族も風しんの予防」

もし、妊娠の後に妊婦が風しんの免疫を持っていないことが分かった場合には、周りで生活している**同居の家族の方**などが、風しんの予防を行うことで、妊婦が風しんに感染する**危険性を下げる**ことができます。

感染症・予防接種相談窓口

受付日時：午前9時～午後5時(土日祝日、年末年始を除く)

☎03-5276-9337

※インフルエンザ・性感染症・その他感染症・予防接種について相談にお応えします。

※行政に関するご意見・ご質問は受け付けておりません。

